

令和7年度 ヤングケアラーに関する調査 結果概要

奈良県立教育研究所

【調査目的】

- 県内の学校の児童生徒に対して、家庭で行っている本来大人が担うべき家事や家族の世話の状況について調査し、その状況を把握するとともに、必要に応じて支援を行う。

【調査方法等】

- 調査対象 県内公立小学校児童（5・6年生）19,760人、公立中学校生徒 28,475人、公立義務教育学校児童生徒（5年生以上の前期課程613人、後期課程802人）1,415人、公立高等学校生徒 20,048人、特別支援学校児童生徒（小学部5年生以上、中学部、高等部）[1,243人]
- 実施方法 各学校においてGoogleフォーム又は質問紙を選択して実施する。
- 実施期間 令和7年6月11日から7月18日
（学校の実態に応じてこの期間以外の実施も可とした）
- 回答状況 有効回答者数及び回答率
県内公立小学生（義務教育学校前期課程を含む） 19,414人 回答率 95.3%
県内公立中学生（義務教育学校後期課程を含む） 25,863人 回答率 88.3%
県内公立高校生 18,385人 回答率 91.7%
特別支援学校児童生徒 [小学部8人、中学部17人、高等部224人、計249人]

（参考） 令和4年度 ヤングケアラー等に関する実態調査

【調査目的】

- ヤングケアラーに関する認知度向上、実態の把握及び必要に応じた支援に資する。
- いわゆる「生理の貧困」の問題に係る高校生の実態を把握する。

【調査方法等】

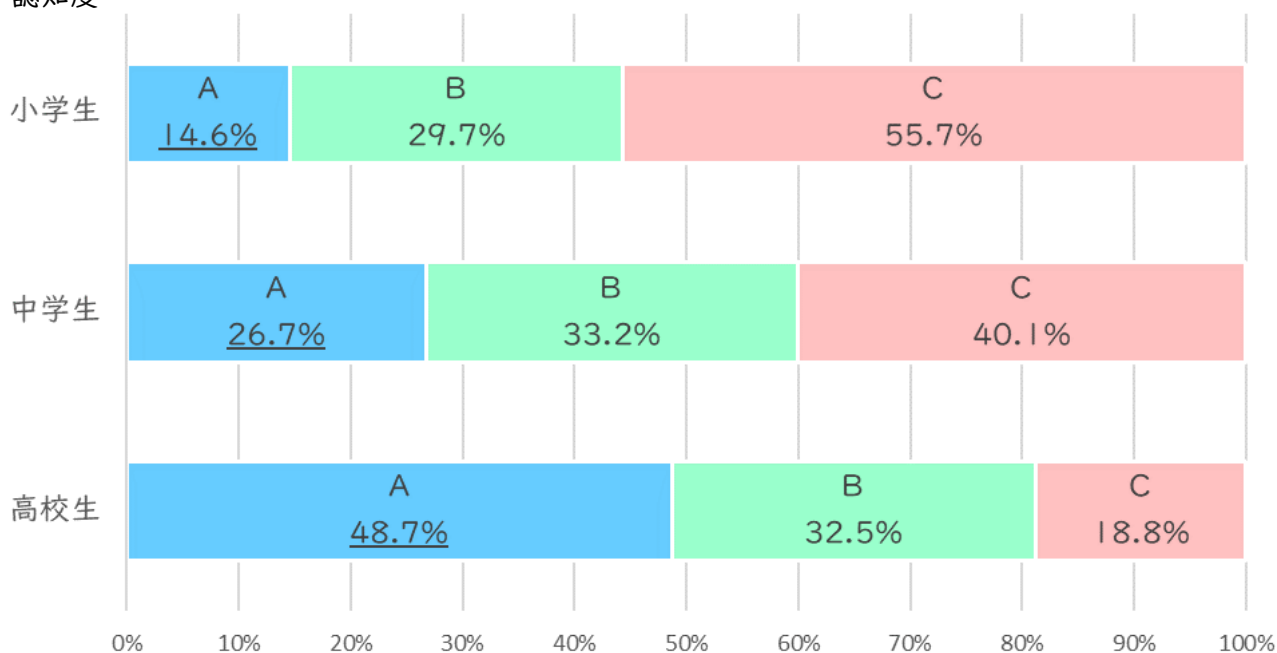
- 調査対象 県内公立中学校全生徒 約30,500人 県内公立高等学校全生徒 約22,000人
- 実施方法 Google Workspace for Education を使用し、パソコン等を用いて回答する。
- 実施期間 令和4年6月2日から6月30日
（学校の実態に応じて左記期間以外の実施も可としたため、最終7月20日まで実施した）
- 回収状況 有効回答者数及び回答率 ・ 県内公立中学生 25,956人 回答率 85.1%
・ 県内公立高校生 15,221人 回答率 69.2%

【調査結果概要】

- ① ヤングケアラーについて、「聞いたことがあり、内容を知っている」と回答した児童生徒は、小学生14.6%、中学生が26.7%、高校生が48.7%であった。(前回調査では中学生20.3%、高校生32.2%)

校種	人数	無回答	聞いたことがあり、内容を知っている	聞いたことがあるが、よく知らない	聞いたことがない
小学生	19,422	5 0.0%	2,834 14.6%	5,766 29.7%	10,817 55.7%
中学生	25,880		6,918 26.7%	8,585 33.2%	10,377 40.1%
R7					
R4	25,956		20.3%	22.1%	57.6%
R3	9,100		8.2%	11.1%	80.7%
高校生	18,609	1 0.0%	9,054 48.7%	6,056 32.5%	3,498 18.8%
R7					
R4	15,221		32.2%	31.7%	36.0%
R3	15,384		12.4%	13.2%	74.2%

認知度



A：聞いたことがあり、内容を知っている

B：聞いたことがあるが、よく知らない

C：聞いたことがない

- ② 家族のための家事や家族の世話をしたことがある児童生徒（小学生8,190人、中学生11,222人、高校生6,468人）のうち、その頻度が「ほぼ毎日」・「週に3～5日」（以下、週に3日以上）と回答した児童生徒は、小学生が3,732人、中学生が4,744人、高校生が2,261人であり、全体に対する割合はそれぞれ19.2%、18.3%、12.2%であった。（前回調査では中学生8.8%、高校生7.4%）

	小学生		中学生		高校生	
	19,422	100.0%	25,880	100.0%	18,609	100.0%
あなたは、家族のための家事や家族のお世話をしたことがある。	8,190	42.2%	11,222	43.4%	6,480	34.8%
無回答	115	0.6%	150	0.6%	127	0.7%
ほぼ毎日	1,893	9.7%	2,193	8.5%	987	5.3%
週に3～5日	1,839	9.5%	2,551	9.9%	1,274	6.8%
週に1～2日	2,273	11.7%	3,164	12.2%	1,912	10.3%
月に数日	2,070	10.7%	3,164	12.2%	2,180	11.7%

週に3日以上と回答した児童生徒

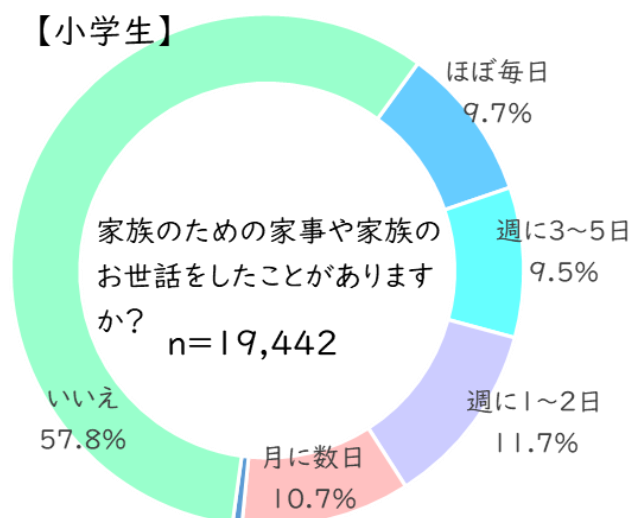
小 3,732 人 19.2%

中 4,744 人 18.3%

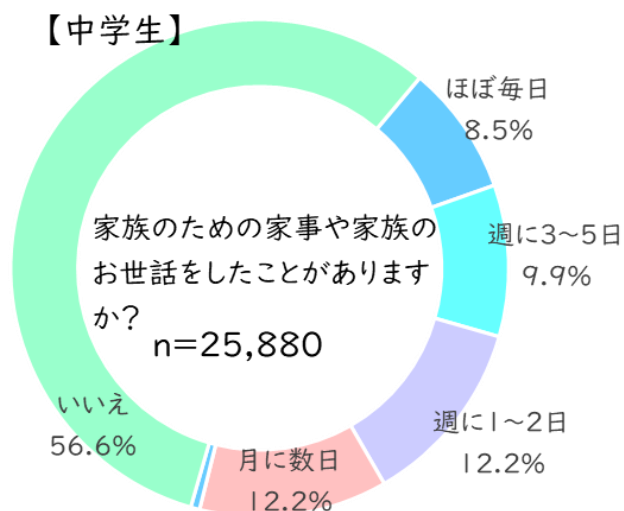
高 2,261 人 12.2%

頻度・週あたりの日数

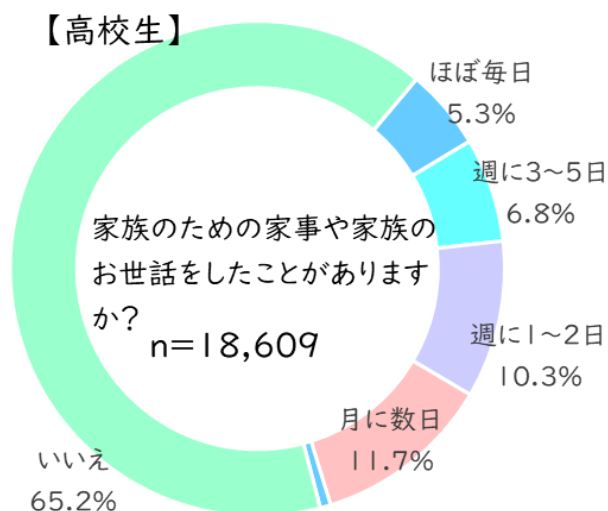
【小学生】



【中学生】



【高校生】



回答率は小数第2位以下を四捨五入し小数第1位までを表示しているため、合計があわない場合もあります。

- ③ 週に3日以上、家族のための家事や家族の世話をを行っている児童生徒（小学生3,732人、中学生4,744人、高校生2,261人）のうち、平日1日あたりの家事や家族の世話をを行う時間について、「3時間以上7時間未満」・「7時間以上」（以下、平日3時間以上）と回答した児童生徒は、小学生501人、中学生が485人、高校生が238人であった。（前回調査では中学生207人、高校生100人）

	小学生	中学生	高校生
週に3日以上、家族のための家事や家族のお世話をしている。	3,732 100.0%	4,744 100.0%	2,261 100.0%
無回答	44 1.2%	42 0.9%	18 0.8%
7時間以上	107 2.9%	104 2.2%	47 2.1%
3時間以上7時間未満	394 10.6%	381 8.0%	191 8.4%
1時間以上3時間未満	1,224 32.8%	1,503 31.7%	770 34.1%
1時間未満	1,963 52.6%	2,714 57.2%	1,235 54.6%

週に3日以上と回答した児童生徒のうち、平日3時間以上と回答した児童生徒

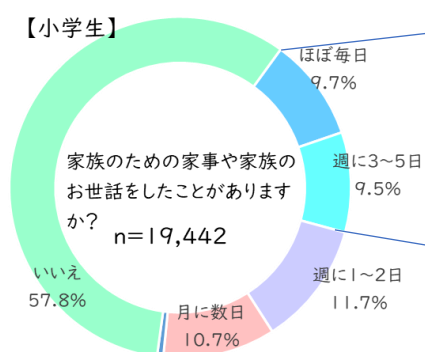
小 501人 13.4%

中 485人 10.2%

高 238人 10.5%

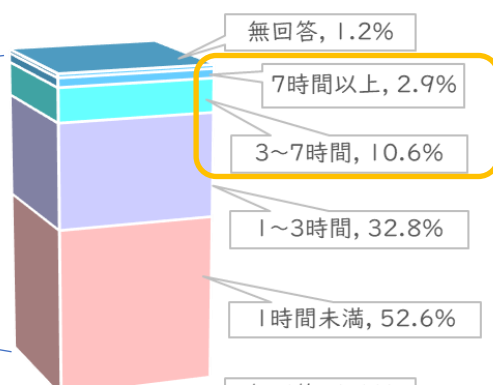
頻度・平日一日あたりの時間数

【小学生】

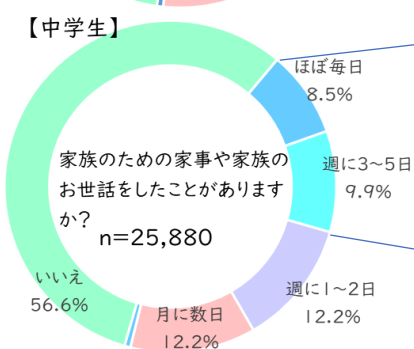


【小学生】

n=3,732

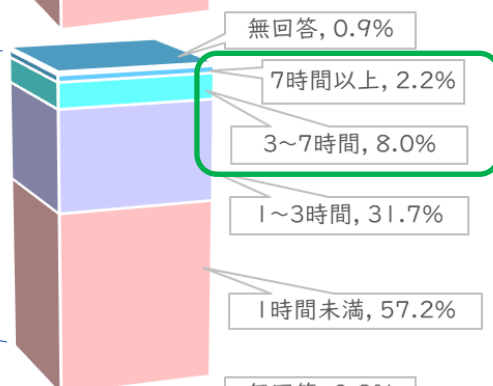


【中学生】

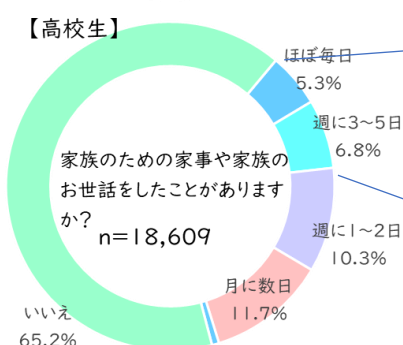


【中学生】

n=4,744

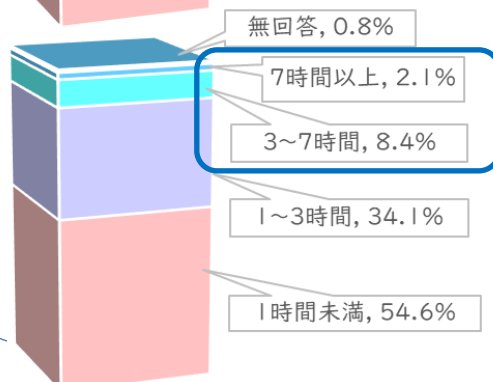


【高校生】



【高校生】

n=2,261



回答率は小数第2位以下を四捨五入し小数第1位までを表示しているため、合計があわない場合もあります。

- ④ 週に3日以上かつ平日3時間以上、家事や家族の世話をを行っている児童生徒（小学生501人、中学生485人、高校生238人）の家事等の内容などについて分析した。

(ア) 家族のための家事や家族の世話の内容に関して最も多かったのが小学生、中学生、高校生とも「料理・掃除・洗濯などの家事」、次いで「幼いきょうだいのお世話や見守り」であった。

対象児童生徒の回答（複数回答可）の上位5項目

〔小学生〕

	家事や家族の世話の内容	回答数	割合
1	料理・掃除・洗濯などの家事	370	73.9%
2	幼いきょうだいのお世話や見守り	285	56.9%
3	家族のいろいろな気持ちを聞き、心のサポートをすること	135	26.9%
4	障がいや病気のあるきょうだい・家族のお世話や見守り	86	17.2%
5	ひとりでは外出が難しい家族の付き添い	76	15.2%

n=501

〔中学生〕

	家事や家族の世話の内容	回答数	割合
1	料理・掃除・洗濯などの家事	423	87.2%
2	幼いきょうだいのお世話や見守り	283	58.4%
3	ひとりでは外出が難しい家族の付き添い	139	28.7%
4	家族のいろいろな気持ちを聞き、心のサポートをすること	114	23.5%
5	障がいや病気のあるきょうだい・家族のお世話や見守り	76	15.7%

n=485

〔高校生〕

	家事や家族の世話の内容	回答数	割合
1	料理・掃除・洗濯などの家事	201	84.5%
2	幼いきょうだいのお世話や見守り	118	49.6%
3	家族のいろいろな気持ちを聞き、心のサポートをすること	64	26.9%
4	ひとりでは外出が難しい家族の付き添い	50	21.0%
5	家計を助けるためのアルバイトや家業の手伝い	48	20.2%

n=238

(イ) 出席の状況について「よく欠席する」と回答した小学生が15.0%、中学生が16.5%、高校生が13.4%であり、遅刻や早退の状況について「よく遅刻や早退をする」と回答した小学生が4.8%、中学生が6.8%、高校生が8.0%であった。

〔小学生〕

	欠 席	全 体
ほとんどしない	61.3%	70.4%
たまにする	23.8%	16.5%
よくする	15.0%	13.1%
n=501		n=19,422

	遅刻や早退	全 体
ほとんどしない	74.1%	82.6%
たまにする	21.2%	14.2%
よくする	4.8%	3.2%
n=501		n=19,422

〔中学生〕

	欠 席	全 体
ほとんどしない	64.1%	72.7%
たまにする	19.4%	11.1%
よくする	16.5%	16.2%
n=485		n=25,880

	遅刻や早退	全 体
ほとんどしない	74.2%	83.1%
たまにする	19.0%	13.4%
よくする	6.8%	3.5%
n=485		n=25,880

〔高校生〕

	欠 席	全 体
ほとんどしない	63.0%	70.9%
たまにする	23.5%	14.6%
よくする	13.4%	14.5%
n=238		n=18,324

	遅刻や早退	全 体
ほとんどしない	68.9%	83.1%
たまにする	23.1%	14.4%
よくする	8.0%	2.5%
n=238		n=18,324

回答率は小数第2位以下を四捨五入し小数第1位までを表示しているため、合計が100%にならない場合もあります。

(ウ) 家族のための家事や家族の世話を行っていることに対する困り事や不安に関して最も多かったのが小学生、中学生、高校生とも「ありません／特になし」、次いで「あまり考えたことがない」であった。

対象児童生徒の回答（複数回答可）の上位5項目

〔小学生〕

	困り事や不安	回答数	割合
1	ありません	166	33.1%
2	あまり考えたことがない	150	29.9%
3	友だちのこと	93	18.6%
4	自分のために使える時間のこと	91	18.2%
5	家族のこと	79	15.8%

n=501

〔中学生〕

	困り事や不安	回答数	割合
1	特になし	174	35.9%
2	あまり考えたことがない	113	23.3%
3	学校のこと	84	17.3%
4	自分が困っているのかわからない	82	16.9%
4	友だちのこと	82	16.9%

n=485

〔高校生〕

	困り事や不安	回答数	割合
1	特になし	67	28.2%
2	あまり考えたことがない	55	23.1%
3	学校のこと	47	19.7%
4	進路のこと	46	19.3%
5	生活や勉強に必要なお金のこと	45	18.9%

n=238

(エ) 家族のための家事や家族の世話をやっていることに對する気持ちに関して最も多かったのが小学生、中学生、高校生とも「役に立ててうれしい」、次いで「家族のためにがんばりたい」、「当たり前のこと」であった。

対象児童生徒の回答（複数回答可）の上位5項目

〔小学生〕

	気持ち	回答数	割合
1	役に立ててうれしい	320	63.9%
2	家族のためにがんばりたい	283	56.5%
3	当たり前のこと	122	24.4%
4	自分にしかできないと感じる	118	23.6%
5	なんだか元気がでない（時もある）	100	20.0%

n=501

〔中学生〕

	気持ち	回答数	割合
1	役に立ててうれしい	269	55.5%
2	家族のためにがんばりたい	213	43.9%
3	当たり前のこと	130	26.8%
4	自分の時間がほしい	109	22.5%
5	なんだか元気がでない（時もある）	94	19.4%

n=485

〔高校生〕

	気持ち	回答数	割合
1	役に立ててうれしい	99	41.6%
2	家族のためにがんばりたい	82	34.5%
3	当たり前のこと	69	29.0%
4	自分の時間がほしい	51	21.4%
5	自分にしかできないと感じる	46	19.3%

n=238

(オ) 相談希望について、「相談したい／相談している」と回答した児童生徒は小学生25.0%、中学生20.6%で、「家族」や「友だち」に相談したい（している）という回答が多かった。「相談したくない／わからない」と回答した児童生徒は、半数程度が無回答であったものの「家のことだから」、「相談するほどのことではないと思うから」、「わからない」の回答が多かった。

〔小学生〕

	回答数	割合
無回答	1	0.2%
相談したい	52	10.4%
相談している	73	14.6%
いいえ	288	57.5%
わからない	87	17.4%

n=501

理由はなんですか。（複数回答可）

	回答数	割合
無回答	179	47.7%
家のことだから	77	20.5%
相談するほどのことではない と思うから	56	14.9%
わからない	54	14.4%
相談しても何も変わらない と思うから	36	9.6%

n=375

誰に相談したいですか。（していますか。）（複数回答可）

	回答数	割合
家族	81	64.8%
友だち	47	37.6%
学校の先生	33	26.4%
親せき	21	16.8%
誰に相談していいか わからない	14	11.2%

n=125

〔中学生〕

	回答数	割合
無回答	1	0.2%
相談したい	37	7.6%
相談している	63	13.0%
いいえ	293	60.4%
わからない	91	18.8%

n=485

理由はなんですか。（複数回答可）

	回答数	割合
無回答	193	50.3%
家のことだから	67	17.4%
相談するほどのことではない と思うから	66	17.2%
わからない	61	15.9%
相談しても何も変わらない と思うから	55	14.3%
誰に相談するのがよいか わからないから	21	5.5%

n=384

誰に相談したいですか。（していますか。）（複数回答可）

	回答数	割合
家族	65	65.0%
友だち	56	56.0%
学校の先生	30	30.0%
親せき	15	15.0%
その他	8	8.0%

n=100

相談希望について、「相談したい／相談している」と回答した高校生は18.1%で、「友だち」や「家族」に相談したい（している）という回答が多かった。「相談したくない／わからない」と回答した高校生は、4割程度が無回答であったものの「相談するほどのことではないと思うから」、「相談しても何も変わらないと思うから」「家のことだから」の回答が多かった。

〔高校生〕

	回答数	割合
無回答	5	2.1%
相談したい	9	3.8%
相談している	34	14.3%
いいえ	153	64.3%
わからない	37	15.5%

n=238

理由はなんですか。（複数回答可）

	回答数	割合
無回答	77	40.5%
相談するほどのことではない と思うから	51	26.8%
相談しても何も変わらない と思うから	39	20.5%
家のことだから	31	16.3%
わからない	21	11.1%
誰に相談するのがよいか わからないから	11	5.8%

n=190

誰に相談したいですか。（していますか。）（複数回答可）

	回答数	割合
友だち	24	55.8%
家族	18	41.9%
学校の先生	12	27.9%
親せき	5	11.6%

n=43